

2014年5月19日

公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP）

## 2014年度 定時総会にて公益社団法人3年目の事業方針を発表。

～ 健全な消費社会の実現に向けた一層の貢献を目指す ～

企業のお客さま相談部門の責任者・担当で組織する公益社団法人消費者関連専門家会議(通称・ACAP=エイキャップ、所在地：東京都新宿区、代表理事：佐分正弘)は、2014年5月16日、東京都文京区にて、2014年度定時総会を開催いたしました。

ACAPは、2012年4月より、公益社団法人として「健全で安全・安心な消費社会を構築する」ことをミッションとして活動を進めてまいりました。定時総会では、公益社団法人として2年目となる前年度の活動成果、及び2014年度の運営基本方針、事業計画等を決議いたしました。

今年度、ACAPは、「社会の発展に資する事業としてSR（社会的責任）活動の推進」「会員の資質向上に資する事業」「団体組織力強化のための事業」「持続可能な組織への基盤強化」という4つの主要テーマを掲げ、活動のさらなる充実を目指してまいります。

### 1. 2014年度 定時総会、記念講演を開催

定時総会には、会員113名が出席、2014年度事業計画、収支予算、役員体制が承認されました。

総会後には、世界的ブランドとなった日本酒「獺祭（だっさい）」を製造する旭酒造株式会社 代表取締役社長 桜井博志氏により、「ピンチはチャンス！ ～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの」と題した記念講演が行われました。

桜井氏は、日本酒「獺祭（だっさい）」が純米大吟醸で販売日本一となり、アメリカやヨーロッパなど、世界20カ国へ輸出拡大を果たすまでの、逆境をチャンスに変えて成功した体験談を、お話しされました。また、発酵によって開栓時に中身が噴き出すといった声が寄せられた発泡性のにごり酒をシャンパンボトルに入れてスパークリングとして販売したところ、苦情がなくなったといったエピソードを披露されました。

### 2. 2014年度事業計画の概要

今年度、ACAPは、会員企業をはじめ行政、消費者団体等関連団体との連携による広範な取り組みを通して、ミッションである「健全で安全・安心な消費社会を構築する」事業と「会員の資質向上を図る」事業を推進いたします。

具体的には、「社会の発展に資する事業としてSR（社会的責任）活動の推進」「会員の資質向上」「団体組織力の強化」「持続可能な組織への基盤強化」という4つの主要テーマを掲げ、ACAPに求められている社会的役割を果たしてまいります。

## ◆今年度 主要テーマ◆

### 1. 社会の発展に資する事業としてのSR（社会的責任）活動の推進

#### ①企業の消費者志向体制の確立

消費者対応部門向けの実務研修、ISO 10002/JIS Q 10002 普及のための研修、ISO 10002/JIS Q 10002 「第三者意見書」発行事業、企業向け研修への講師派遣、事業者相談事業の推進 等

#### ②消費者教育推進法に基づく消費者教育、啓発活動の推進

消費者教育推進プロジェクトを中心にした支援活動の具体的展開、消費者月間を活用した消費者教育・啓発キャンペーンの総合的展開、消費者問題に関する提言募集・表彰、消費者啓発講座の開催・講師派遣、行政主催の消費者啓発事業への参加、消費生活センターにおける消費者啓発資料のACAP常設展示コーナーの全国展開 等

#### ③外部の関係団体との戦略的交流、連携の強化による相乗効果の発揮

行政・独立行政法人、事業者団体・経済団体、消費者・関係団体、海外関係団体等との交流・連携 等

#### ④消費社会への有用な情報発信、コミュニケーション活動の強化

行政・マスコミ・消費者関連団体・国際機関等への情報・発信、パブリックコメントの発信、リアルでの広報PR活動に加え、WEBでのコミュニケーション活動の強化、消費者向けの情報発信を推進

今年度は特に消費者向け広報ツール『もしもし相談室』WEB版発行を検討する。

#### ⑤ACAP研究所による研究、調査、事業（開発）活動の推進

消費社会の動向に対してタイムリーな調査の実施、消費社会を深耕する研究会活動の実施、調査・研究成果の対外発信力の強化、消費者関連情報の収集・分析・発信、『ACAP研究所ジャーナル』の発刊及び企業研修への講師派遣 等

### 2. 会員の資質向上に資する事業

#### ①会員の相互啓発、交流、専門性の強化、人的ネットワークの強化

例会、オープン例会、自主研究会・業種交流会の充実、新入会員のスムーズな入会と定着を促す説明・研究会の実施。施設見学会、研究会活動等。今年度は特に、地域拠点育成地区での開催を検討する。

#### ②消費者志向経営を推進するための消費者対応力の向上

会員企業への情報提供の充実、実務研修、スキルアップ研修の実施 等

#### ③会員全員の参加・参画による活動・運営

執行活動、各種プロジェクト 等

### 3. 団体組織力強化のための事業

#### ①会員拡大活動の全国展開と地域拠点（北海道、東北、中部、中国、九州地区）の強化

各委員会、支部組織の横断的連携、機能の活用による効果的な加入促進活動等

#### ②公益社団法人としての組織運営力、ガバナンスの質的向上

諸規程類の必要部分の改訂と適正な運用、説明責任の達成 等

#### ③当会の人的資源、知的財産の結集と活用

保有する人的資源、知的財産に関する情報を整理し、事業者相談事業等公益的事業への対応基盤構築、公式見解作成支援 等

#### ④執行機能、事務局機能の更なる強化

各執行組織・事務局機能の強化 等

⑤会員の早期適応に向けたフォロー活動の実施

新会員管理システムにより、入会後の会員定着に向けたフォロー施策の充実

4. 持続可能な組織への基盤強化 — 中長期視点に立った課題確認と対応策の実施 —

①財務、事業、組織・人材、情報コミュニケーションの中期戦略の継続検討と施策実行  
公益性を拡大する視点での事業開発、全国的視点に立った地域拠点の育成強化、  
中期的な執行組織体制の検討 等

②組織基盤強化に向けた新会員制度の導入と定着  
新会員制度導入による会員数の増加、会員属性の広がりによる社会との交流機会の拡大、  
会員満足の向上 等

③財務基盤の安定強化に向けた収益拡大のための事業・施策の導入  
中期的な活動資金の確保に向けた新たな収益源となる事業・施策の検討 等

以上

◆本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP）  
事務局長 清水きよみ TEL：03-3353-4999 E-MAIL：acap@acap.jp

◆参考資料

・ACAP 2014年度 役員・執行体制

◆参考

公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP）

企業や団体のお客様相談部門の責任者・担当で構成する組織として、1980年（昭和55年）の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記の The Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり、ACAP（エイキャップ）の名前で親しまれています。

会員数	正会員759名（587社）。全会員数859名（2014年5月16日現在）
理事長	佐分 正弘（さぶり まさひろ） トヨタ自動車株式会社
特別顧問	高 巖（たか いわお） 麗澤大学経済学部教授
所在地等	<b>【事務局】</b> 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-12 玉屋ビル5F TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049 <a href="http://www.acap.or.jp">http://www.acap.or.jp</a> <b>【大阪事務所】</b> 〒540-0028 大阪市中央区常盤町2-1-8 MIRO谷町ビル7F TEL 06-6943-4999 FAX 06-6943-4900



開会挨拶を行う佐分理事長



議案の説明を行う長谷川専務理事



逆境をチャンスに変えた体験談を講演された旭酒造の桜井代表取締役社長

ACAP 2014年度 役員・執行体制

◆役員体制

理事 12名 監事3名

2014.5.16

理事長(代表理事)	佐分正弘(トヨタ自動車)	専務理事(業務執行理事)	長谷川公彦(準会員)
理事	岩井清治(ハウス食品)	坂倉忠夫(キリン)	佐藤喜次(明治安田生命保険)
	島谷克史(消費科学研究所)	谷一暢樹(TOTO)	中村 哲(日本生命保険)
	西部雅彦(三菱自動車工業)	羽鳥敏彦(アサヒビール)	村上直紀(小林製薬)
	山下俊章(第一生命保険)		
監事	久保田恭子(準会員)	高倉孝生(準会員)	山内綾子(準会員)

特別顧問	高 巖(麗澤大学 経済学部教授)		
事務局長	清水きよみ	ACAP研究所長	来島正男(準会員)

◆執行体制

●企画委員会 8名	委員長	坂倉忠夫(キリン)	副委員長	高田かおり(消費経済研究所)
	委員	梶原織梨江(日本生命保険) 高木秀敏(準会員)	五味あゆみ(マナテックジャパン) 平田 哲(準会員)	今野左斗美(朝日生命保険) 古田昌人(富士重工業)
●総務委員会 7名	委員長	佐藤喜次(明治安田生命保険)	副委員長	町田英樹(日清製粉グループ本社)
	委員	川辺眞理(準会員) 宮本健吾(準会員)	竹内牧子(全日本トラック協会) 村松義彦(日清オイリオグループ)	丹 敬二(準会員)
●広報委員会 9名	委員長	山下俊章(第一生命保険)	副委員長	柳原由華子(旭化成) 小原裕子(ビジョン)
	委員	寛 正美(ライオン) 福田祐一(味の素)	加藤 正夫(ソニーマーケティング) 松田充弘(明治安田生命保険)	中西信夫(ヤマハ音楽振興会) 森田千奈美(日世)
●消費者啓発委員会 16名	委員長	谷一暢樹(TOTO)	副委員長	川島百合子(ナノスタイル)
	委員	伊東順也(ジョンソン・エンボ・ジョンソン) 大島美保(アスクール) 小林 彰(エステー) 中尾俊彦(クラシエホームプロダクツ) 前田紀美(アイシン精機)	岩澤紀子(ジューヒタショップチャンネル) 小野田和弘(東京ミッドタウンマネジメント) 今野裕子(日本マイクロソフト) 藤田晶子(準会員) 渡辺智司(バスクリン)	大久保圭介(明治) 岸本邦夫(ハーゲンダッツジャパン) 田中真理子(アルソア本社) 堀 潤 茂(アキレス)
●企業研修委員会 9名	委員長	羽鳥敏彦(アサヒビール)	副委員長	松岡信行(準会員)
	委員	相澤和子(日清製粉グループ本社) 谷本 清(シジシージャパン) 三谷隆夫(桃屋)	天野久美子(オエノンホールディングス) 紅田美恵子(準会員)	佐羽功一郎(準会員) 三木 繁(日清食品ビジネスサポート)
●交流活動委員会 11名	委員長	中村 哲(日本生命保険)	副委員長	木村健一郎(サントリービジネスエキスパート) 佐藤華子(東洋羽毛工業)
	委員	片岡康子(楽天) 新美秀男(本田技研工業) 備後弘幸(イカリ消毒)	幸山常男(準会員) 祢木 修(よつ葉乳業) 山田弘志(ユニ・チャーム)	中村 渉(積水化学工業) 日浦正人(セブン・イレブン・ジャパン)
●会員活動委員会 15名	委員長	西部雅彦(三菱自動車工業)	副委員長	高橋秀明(富士通)
	委員	江本俊一郎(ジェイティーピー) 嶋倉順子(日本ロレアル) 平野利枝(タカラミービジネスサービス) 牧内孝代(トリプ・インターナショナルジャパン) 和田初夫(トヨタ自動車)	近藤 修(準会員) 田中美津子(アサヒフードアンドヘルスケア) 古坂章由(バンダイ) 村井正素(住友生命保険)	佐藤雄一郎(産業能率大学) 沼田秀毅(準会員) 保刈敏夫(日本化学工業協会) 渡部利江子(ジョンソン・エンボ・ジョンソン)
●西日本支部 3名	支部長	島谷克史(消費科学研究所)	副支部長	村上直紀(小林製薬) 岩井清治(ハウス食品)
支部運営 3名	担当委員	朝倉公治(準会員)		
	運営幹事	小田清治(準会員) 金子裕一(ミズノ)		
啓発・交流部会 13名	部会長	村上直紀(小林製薬) 副部会長 金谷郁穂子(花王) 馬場新一(準会員)		
	担当委員	大塚郁子(月桂冠) 玉置伸次(アイゼン) 野口昌則(準会員) 藤井康尊(桐灰化学) 吉田孝行(タビオ)		
	運営幹事	植田 徹(宝酒造) 大井 明子(ハウス食品) 木全崇仁(ルシアン) 黒田典子(小林製薬) 森井仁美(キング醸造)		
企業研修部会 9名	部会長	朝倉公治(準会員) 副部会長 金子裕一(ミズノ)		
	運営幹事	黒田典子(小林製薬) 斎木茂人(日本ハム) 柴井彰成(アース製薬) 多田和代(サクラクレパス) 平間順一(ビジョン) 三村和美(千寿製薬) 米田 実(マンダム)		
会員活動部会 17名	部会長	岩井清治(ハウス食品) 副部会長 堤 一正(リブドゥコーポレーション)		
	担当委員	金子裕一(ミズノ) 田丸成彦(準会員) 永野陽子(シーボン) 向井洋子(関西テレビ放送)		
	運営幹事	遠藤博文(マンダム) 勝田謙次(西川リビング) 上岡正典(加藤産業) 北山雅也(上野製薬) 楠本英司(ジェクス) 笹原秀夫(関西テレビ放送) 重富一紘(準会員) 武政二郎(準会員) 田中美奈(日本生命保険) 戸倉光明(準会員) 中島賢治(小林製薬)		
中部地区部会 2名	部会長	山田慶之(デンソー) 運営幹事 橋本勝二(ニチハ)		
九州地区部会 2名	部会長	本多才司(三和酒類) 運営幹事 松延貴弘(やまやコミュニケーションズ)		